

## 町内会活動の活性化に関する先進事例

### ■ 岡山県岡山市

#### ● 概要

岡山市は人口 67 万人程度、町内会加入率は 88.8% (平成 18 年 6 月時点) の都市である。市では、総務省の地域情報化モデル事業交付金 (e まちづくり交付金) を活用して、平成 14 年度に電子町内会システムを開発した。

電子町内会とは、インターネットを活用して町内会活動を行ったり、地域情報を発信したりして、地域住民同士のコミュニケーションの促進を図ること、地域コミュニティの活性化を図ることを目的としている。現在、岡山市の 24 の学区連合町内会と、33 の単位町内会に電子町内会が普及しており、一部の町内会では既に地域住民から活発な意見や地域の課題の抽出がされ、多くの地域の課題が解決されている。

たとえば、桜の木に発生した害虫の駆除や、不用品の引き取り手の募集など、様々なことが電子町内会を通じて実現されている。

岡山市の町内会加入者の中で電子町内会を利用している割合は 4.2% にとどまっているが、町内会への普及率は全 1582 単位町内会の 20% を超えており、これらの数値は確実に上昇している。また、開発当時には構想になかった SNS やブログといったサービスも市民ニーズに応じて機能追加することを検討している。

#### ● 住民参画促進の背景

町内会の活動は、通常の場合、平日の昼間に実施されることが多いため、仕事を持つ人は町内会活動への参加が難しかった。また、活動の主体は高齢者であり若い世代の参加は少なかった。しかし、電子町内会を活用することにより、自分の都合に合わせた時間で参加することができ、昼間は仕事をしている若い世代にも町内会に参加してもらうことを期待した。

さらに、全国的に町内会の機能が低下していることも電子町内会の構築背景にあった。住居の高層化やライフスタイルの多様化等、社会環境の変化に伴い、地域住民同士のコミュニケーションが減少し、地域の問題について真剣に考え行政の活動に積極的に参画する地域住民が減少してきた。岡山市では電子町内会の活用により、これら課題を解決することを図った。

以上のように、岡山市が電子町内会を開発した目的は主に、①仕事等で多忙な人も時間にとらわれることなく町内会活動に参加できるようにする、②地域住民同士のコミュニケーションを促進させる、③パブリックコメントや電子アンケートなどを実施して住民参画の促進を図る、以上の 3 点であった。

電子町内会の機能には、誰でも閲覧可能な地域の情報発信を目的とした外向けページと、町内会員限定の地域住民向けの連絡や住民同士の交流を図るための内向けページがある。内向けページでは、町内会活動の案内や、地域の課題などについての議論、地域住民同士

の情報交換等を促進させるため、電子掲示板やカレンダー機能といったものを設けている。書き込みへの誹謗中傷を防止するため、登録は実名を義務付けている。

町内会活動の主体となる高齢者は、インターネットの利用が難しい世代といわれているため、岡山市では、高齢者の電子町内会の操作サポートを徹底した。情報ボランティアによるパソコン講習の開催、個別住宅に出向く出前講習の実施、操作方法を電話で質問できる IT ヘルプセンターといった各種サポートを充実させた。その結果、市民全体の IT リテラシーが向上し、初心者向けのサポートである IT ヘルプセンターはサービスを打ち切った。

電子町内会の機能を活用する中で、住民同士の交流促進や IT リテラシー向上など様々な効果が現れている。今後、岡山市では、電子町内会のパネル展などを開催し、多くの市民に関心を持ってもらうほか、学校や PTA と連携し、電子メールの一斉送信機能を活用して不審者情報等を発信したり、現在は学校と保護者の間で紙媒体で行われている情報伝達を ICT の活用により迅速化させたりして、安全安心なまちづくりを目指したいと考えている。

### カレンダー機能 (行事予定・施設予約)

町内会長、各種団体や町内の皆さんが手軽に行事予定を入力できるので、町内の様々な行事予定を簡単にお知らせできます。また、行事予定だけでなく公会堂など町内会の施設の予約状況も把握することができます。

## 電子町内会システム 会員専用ページ

おかやま町内会  
会員専用ページ

### キャラクター作成機能 (似顔絵)

髪型や表情などのパーツを選択し組み合わせることで、自分の似顔絵を簡単に作成することができます。作成した似顔絵は e 交流及び利用者一覧に表示されるので、親近感をもって交流することができます。

### e 交流機能 (電子掲示板・会議室)

町内のコミュニケーションをはかる機能として、各種通知、回覧文書、各種団体からのお知らせ、会員の身近な出来事などを掲載したり、会員同士で町内の問題から雑談まで幅広い意見の交換をすることができます。

### e 御意見機能 (パブリックコメント・アンケート)

町内会員さん向けのアンケートを簡単に作成・実施することができます。また、市の実施するパブリックコメント・アンケートなどにも投票することができます、市政に気軽に参加することができます。

会員専用ページは、町内会の会員個人に割り当てられた ID・パスワードがなければ見ることができないページです。

発行：2005年3月

図 1 電子町内会の主な機能

出典：岡山市「電子町内会パンフレット」

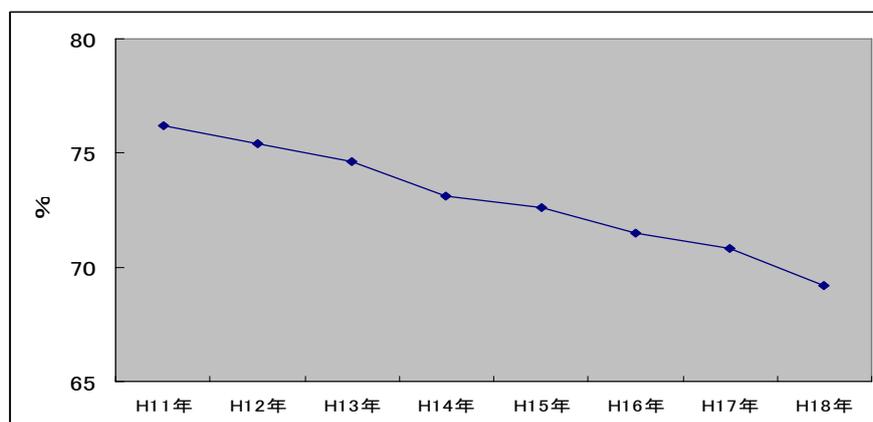
## 広島県広島市

### ● 概要

広島市は、平成 11 年には 76.2%であった町内会加入率が、平成 17 年には 70.8%にまで下落した。しかし、同年 12 月に「こむねっとひろしま」という電子町内会が開発され、現在、このシステムを活用しようという町内会が増加し、様々な効果が現れ始めている。「こむねっとひろしま」のシステムは、市の IT 化の促進のため情報政策課で普及が推進されたが、後に市長が地域活性化のために役立てる方針を打ち出し、以来、市民局市民活動推進課と協力して活動を推進している。

こむねっとひろしまの活用により、現在はいくつかの町内会でコミュニケーションの促進が図られ、地域の課題解決や交流促進が実現されている。最初に「こむねっとひろしま」の電子町内会を活用した鉄砲町町内会は、広島市の中心部である中区にあることもあり、全 200 世帯のうち町内会加入率は 61 世帯と 30%程度にとどまっている。広島市街の都市開発に伴い、ビル等の高層住宅が増加し、立体化してきたコミュニティの中で回覧板を回すのも大変であった。そこで、電子町内会の機能を活用し、町内会のイベント情報等を電子町内会でも掲載したところ、地域住民同士の情報交換が図られ、若者も活動に参加するようになってきたなど、一定の効果を出している。「こむねっとひろしま」はサービスが開始されてまだ 1 年程度であるが、今後、広島市では 5 年以内に電子町内会の活用を 200 町内会にまで広げることを目標としている。

表 1 広島市の町内会加入率の推移



出典：広島市の調査結果資料をもとに作成

### ● 住民参画促進の背景

広島市では、町内会の活動支援をあまり実施していなかった。市は町内会活動のために資金援助等の支援を実施しない、その代わりに、市からも町内会に対して要望を出さないという状況であった。しかし、平成 17 年に「こむねっとひろしま」を開発したことにより、

市が町内会の活動を支援する動きが活発になってきている。

当初、「こむねっとひろしま」は、市民同士のコミュニケーションの促進や町内会の活性化を図ることを目的としてではなく、地域情報化の発展を目的として開発された。そのため、管轄は情報政策課であり、あくまで地域情報化の促進や市民のITリテラシーの向上が目的であった。地域住民にとって身近な町内会活動のIT化を図ることにより、地域情報化の底上げが期待できると考えた。

「こむねっとひろしま」の活動は地域メディアにも取り上げられ、さらに市長も地域活性化の一層の促進のために電子町内会の機能を活用することを考え、情報政策課は市民局市民活動推進課と連携を図り、町内会活動の支援を行った。現在は活動の検討を行うワーキンググループも設置され、積極的に地域活性化の検討を行っている。

「こむねっとひろしま」の機能は、町内会関係者しか閲覧できない会員専用ページと、誰でも閲覧可能な一般公開用ページがある。ページのトップには地域毎に適した新着の行政情報が掲載される機能がある。たとえば、鉄砲町町内会は中区にあるため、広島市役所からの行政情報と、中区役所の区民向けの情報が参照しやすく一覧で掲載されている。同様に、鈴が峰第二住宅自治会であれば西区の情報が掲載され、これまで必要な情報を探すのに苦労していた行政情報の参照に関する利便性が高い。

広島市が地域住民の支援について考えた跡は、市のホームページからも読み取れる。全国の多くの自治体のホームページは、組織ごとに情報発信がされ、市民は自分が必要とする情報を探し出すのに苦慮していた。しかし、広島市のホームページのトップには「ライフメニュー」という分類を設け、「子育て・保育」「住宅」「介護」など、生活上の分野で情報を整理し、市民に閲覧しやすいようにしている。市が地域住民のサポートをする活動は、このような部分にも表れている。

今後、広島市では、タウンミーティングの場で「こむねっとひろしま」の活用事例を報告して利用者の増加を図るほか、電子町内会の機能を携帯電話でも使用できるようにしてほしいという多数の市民の要望に応えるなど、機能追加についても検討していく。